

鴻の巣 1 町内会 活動視察

●日 時：平成 27 年 11 月 21 日 （土）13：30～16：30

●場 所：植田北コミュニティセンター

【鴻の巣 1 町内会について】

鴻の巣1町内会では、「つながりを育む」をテーマに「防災」と「地域福祉」の2つの課題に取り組んでいます。地域にこのような活動を支えるための場所が必要だと感じ、専門家の意見も取り入れながら“まちの縁側”を拠点とした地域づくりを進めています。

今年は、まちづくり活動助成を受けて、地域の住民を対象に“まちの縁側づくり”のワークショップや学習会を開催して、“まちの縁側”の必要性を理解してもらい、明るく住みやすいコミュニティをつくるための活用方法や運営方法などについて話し合っ

【活動の様子】

11月21日（土）天白区植田北コミュニティセンターに、鴻の巣1町内会を中心に、まちの縁側準備委員会の方が集まり、なごやかな雰囲気の中“まちの縁側”を拠点とした地域づくりの講演とワークショップが行われました。

まず最初に、鴻の巣1町内会の会長より「防災」と「地域福祉」活動を進める上で活動拠点が必要なことや、その運営には費用がかかるため、地域の住民に理解してもらい、慎重に検討を重ねて“まちの縁側”づくりの実施計画を作りたいと説明がありました。

あいさつの後は、日本社会事業大学講師の倉持香苗さんによる“まちの縁側”を拠点とした地域づくりの講演が行われました。



イベント開催のチラシ



鴻の巣1町内会の会長によるあいさつ



日本社会事業大学講師の倉持さんによる講義



講演では、コミュニティカフェは飲食を共にすることを基本に、誰もがいつでも気軽に立ち寄り自由に過ごすことができる場所で、人々の出会いとつながりを育み、地域コミュニティの活性化に大きな可能性をもっている事を学びました。また、空き家をサロンにしたコミュニティカフェや、高齢者の食事提供から発展

した例、行政の補助を受けて運営して独立した例など、それぞれの特徴と一緒に説明があり参加者のみなさんからは、わかりやすかったと好評でした。

講演の後は、テーブルを囲みワークショップが行われ、鴻の巣1町内会における“まちの縁側”を拠点とした地域づくりについて自由に意見交換をしました。

参加者のみなさんからは、自主防災を主体として発展させてはどうかという事や、高齢化が進んでいるため拠点の運営をする人材が不足している事、一部の利用だけでなく、多くの人が利用できるような場所にするなどの意見がありました。

最後に鴻の巣1町内会の会長より、地域の住民に理解してもらうにはもう少し時間がかかるが、今回のような学習会に一人でも多く足を運んでほしいと話しがあり終了しました。

今回の学習会は、地域の活動拠点であるコミュニティカフェについて学び、地域が進む方向性について意見交換ができたことが、大きな一歩だったと感じました。将来的には、住民に親しまれる活動拠点となり、交流が深まる場所として発展することを期待します。

～こいぬさんの感想～

今回うかがって、地域の中の活動拠点の必要性を感じました。住民のみなさんの理解を得て、交流の場としてどのように利用されて広がっていくかが楽しみです。

